

令和5年度第2回静岡県摂食障害対策推進協議会 議事録 概要版

1 開催概要

日時：令和6年1月18日（木）午後6時から7時30分

方法：オンライン

2 議題

- (1) 令和5年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施報告について
- (2) 令和6年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施計画について

3 内容

議題（1）令和5年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施報告について

- ・静岡県摂食障害治療支援拠点病院（浜松医科大学附属病院（以下、「浜医大病院」）として、看護師1人をコーディネーターとして配置し、入院や初診の調整を行っている。
- ・浜医大病院への相談件数は、令和5年度減少傾向。全国的にも減少傾向にある。相談者は、家族からが最も多い。医療機関からは、どの病院を受診すれば良いかや浜医大病院につなぎたいなどの問合せがある。新規相談者の内訳としては、10～20代で7割を占める。小学生も増えてきている。性別は、女性：男性＝9：1という一般的な割合に近い内訳。患者の状態は、やせ、食事制限（摂食）、過食が多い。相談内容としては、当事業開始当時は、病気の相談や病気への対応の相談が多かったが、受診相談が最も多くなっている。受診相談後の対応としては、浜医大病院への受診と協力病院への紹介が半分ずつくらいとなっている。
- ・浜医大病院の初診について、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことが影響してか初診が減っている。令和5年度は、協力病院の初診も全体的に減少又は例年並みとなっている。
- ・入院患者については、居住地が中部／東部の患者も西部の総合病院で受入れてもらうことがあるため、負担を掛けている。居住地が西部の患者については、浜医大病院で受入れることが多く、西部の協力病院への紹介が少ない状況。
- ・治療連携体制について、令和5年度は、専門医制度にて、専門医・専攻医が協力病院に研修に行っていることからその医師にも摂食障害を診てもらえるようにするため、働きかけを行っている。浜医大病院が基幹病院となっている研修の連携病院に対して、アンケートを行ったところ、外来で摂食障害を全く受けられないということではなく、入院についても回避制限性摂食障害は受入れられないというところもあるが受入れられないということではなかった。診療可能なBMIは、13～15くらいまでということだった。いくつかの病院との連携を目指してい

きたい。

- ・子どものこころ専門医研修についても、浜医大病院が基幹病院となっている病院に対して、研修の方法など相談していきたい。
- ・家族支援は、心理師を中心に、家族教育とエンパワメントを行っている。
- ・研修は、対象者や内容が多岐にわたっている。他県や他大学病院から静岡県の実践を知りたいと相談があり、石川県、福井県、奈良県、三重県などを対象に研修を実施した。県内全小中学校養護教諭や県立高校・特別支援学校の養護教諭を対象にした研修や、産業医を対象にした研修も行った。12月には、精神科医・小児科医を対象に、オンラインで講演会を実施した。開催通知は、県内全病院に対して行った。テーマとしては、相談が増えているが治療方法がまだ浸透していない回避制限性摂食障害を扱った。1月には、新たな取り組みとして、精神科医・小児科医を対象とした症例検討会を実施する。事前にオンデマンドにて講演を配信し、当日は質疑応答を1時間30分～2時間予定している。既に70～80の質問が出ている。
- ・普及啓発活動としては、10月に摂食障害フォーラムを対面で実施。県立こども病院医師から、子どもの摂食障害について講演いただいた後、支援者と家族で分かれて質疑応答や交流会を行った。
- ・その他の活動としては、当事者の交流会を実施している。オンラインで行っているため、遠方や県外からの参加もある。

議題（２）令和6年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施計画について

- ・治療連携体制について、令和5年度に引き続き、専門研修における連携・研修体制の整備を行うため、専門研修管理委員会に参加し研修プログラムの方法を検討していく。また、当協議会を通じて、摂食障害連携病院と課題の共有をしていく。
- ・研修は、摂食障害の発症予防・発症間もない人を医療につなげるゲートキーパー（産業医／職場のメンタルヘルス担当者（いずれも既に実施依頼有り））を対象に実施する。摂食障害連携病院／専門医・専攻医に対しては、ニーズを把握し、マテリアルの中でどれを使えば診療に役立つか情報提供していく。精神科医・小児科医・児童精神科医に対しては、令和5年度に引き続き、講演会と症例検討会を実施する。
- ・普及啓発活動としては、摂食障害フォーラムを予定。扱うテーマについては今後検討し、上手く普及啓発につながるようにしたい。
- ・その他の活動としては、ピアサポーター（回復期の患者、回復者）を養成するための勉強会・交流会を実施し、ピアサポーターにはグループセラピー（治療）にも参加してもらおう。

意見交換

- ・摂食障害で入院した患者が居住地に戻った後受診しないと、いのちの危険につながる。浜医大病院に対して、患者が受診しなくなったことを協力病院が相談できる体制があると良い。
- ・浜医大病院に相談があり、協力病院を紹介したケースについて、その後どのようなようになったのか追うようにしたい。
- ・病院間での連携が上手くいっているケース、そうでないケースの事例共有もしていきたい。
- ・当協議会とは別に、病院同士+ α で問題が生じた際に連携ミーティングをオンラインなどで開催し、今後の対応などを話せる場を浜医大病院が取り持つことは可能。
- ・東部地域については、総合病院が核となって連携や情報共有ができれば良いと思う。できれば、東部の総合病院にも協議会に参加してもらえよう状況を把握し、アプローチしていきたい。